

EP8000 + Oracle 9i RAC + SANRISEの連携が実現する

ミッションクリティカルソリューション

グローバルビジネスの進展とユビキタス情報社会の到来にともない、幅広い分野において「止まらない+安心して利用できる」システムの構築が、ビジネスの継続性を保証するための重要な課題となってきました。また、将来の業務変化やシステム拡張に柔軟に対応できるオープンプラットフォームへのシフトも急速に進んでいます。

そこで日立は、情報ライフラインを支えるUNIXサーバ「EP8000」と、日本オラクル社が提供する新世代プラットフォーム「Oracle 9i」さらには高密度実装と高性能を兼ね備えたストレージ「SANRISEシリーズ」をシームレスに連携させたソリューションをご提供。「止まらない+安心して利用できる=高信頼のシステム」で、お客様のミッションクリティカルビジネスを強力にサポートします。



高性能・高可用・高信頼を兼ね備えた
トータルなミッションクリティカルシステム

ユビキタス情報社会では、「情報」が電気や水道、ガスと同じようにライフライン化し、ビジネスや暮らしのあらゆる場面で利用されてきます。このため、安全・安心・

快適な情報社会を実現するためのプラットフォームは、止まらないこと、止まっても迅速に回復することが不可欠な条件。そこでご紹介したいのが、「EP8000 + Oracle 9i RAC + SANRISE」の連携によるミッションクリティカルソリューションです。

オペレーティングシステムAIX 5LとPOWER4+など高性能プロセッサを搭載した「EP8000」は、日立独自の高信頼・高可用機能や、万一のOS障害時における緊急対策など、日立の長年にわたるメインフレーム開発の実績に基づく高信頼設計を投入したエンタープライズサーバとして、さまざまな高信頼・高可用性強化への取り組みを行っています(図1)。

そして多彩な先進技術でビジネスのパフォーマンスを引き出す新世代プラットフォーム「Oracle 9i」。世界最高クラスの性能とスケラビリティを誇り、SAN環境下でのさまざまなニーズに対応するストレージサブシステム「SANRISEシリーズ」さらに、IPv6対応で高速処理を実現するギガビットルータ「GR2000」。このコンビネーションがEP8000とSANRISEを連携し、各種障害対応を強化した専用ドライバや日立ファイバチャネルアダプタに加え、日立とオラクルの共同開発による「DB Validator」といった最先端テクノロジーを駆使して実現するのは、まさに高信頼のミッションクリティカルソリューションです(図2)。

止まらない、止まっても迅速に回復するシステムを実現するために

5つの推進テーマ

高可用クラスタ構成

高可用なクラスタ構成により、ノード障害時には他のノードで業務を引き継ぎ、ノンストップ運用を支えます。

高信頼ストレージ連携

SANRISE専用ドライバ、日立ファイバチャネルアダプタの開発により、障害対応を強化するなど、「SANRISEシリーズ」と「EP8000シリーズ」との高信頼連携を実現します。

高信頼運用支援

遠隔保守システム(ASSIST)や予兆管理機能などにより、EP8000システム全体における監視・分析・改善による安定稼働を実現します。

高信頼サポートサービス

システムダウンの未然防止や、万一のOS障害に対する緊急対策、週7日24時間の窓口サービスなどにより、システムのノンストップ運用を支えます。

高品質ハードウェア提供

メインフレーム開発・製造で培ったノウハウを活かし、日立基準での部品受入検査やスクリーニング、納入先顧客構成でのシステムエンジニアリングなどにより高品質ハードウェアを提供します。

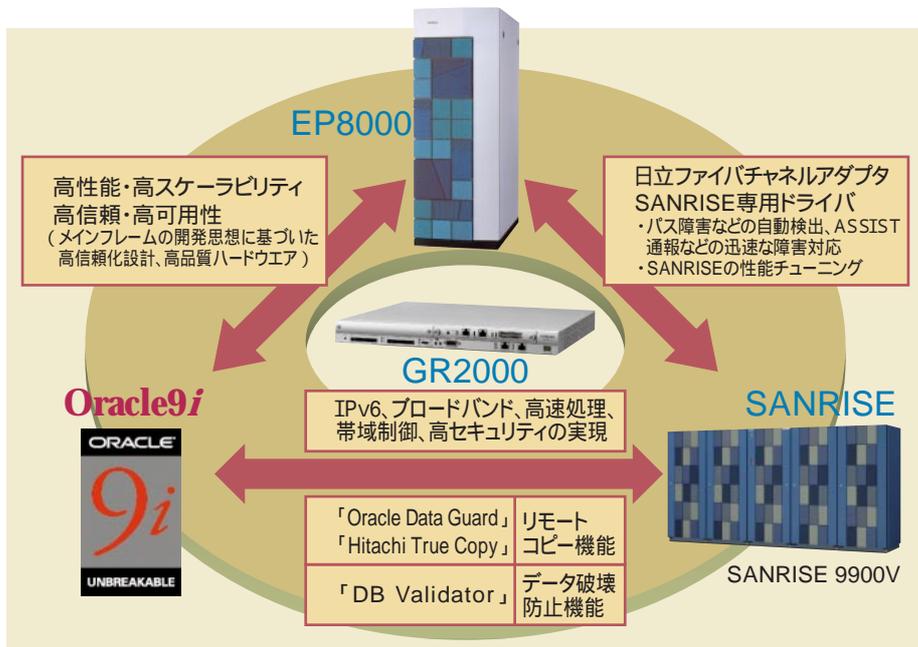


図1 EP8000高信頼化・高可用化の推進

図2 EP8000 + Oracle 9i + SANRISEの連携機能・特長

強力なディザスタリカバリソリューションを提供

大規模な停電や地震、テロなどの災害によるミッションクリティカルシステムの停止は、ビジネスに多大な影響を与えます。そこで近年、こうした事態に備えるための手法として「ディザスタリカバリ」に注目が集まっています。

EP8000 + SANRISE + Oracle9i RAC (Real Application Clusters) の組み合わせでは、シェアードディスク型クラスタの採用により、ノードの追加によるスケーラビリティとリニアなパフォーマンス向上が可能であり、また、クラスタ管理を実現する「HACMP (High Availability Clustering Multi-Processing)」により、可用性に優れたクラスタシステムを構築でき、サイト内において障害が発生しても業務の継続が可能です。

さらに、GR2000、統合システム運用管理ソフトウェアJP1を組み合わせて、災害対策データベースシステムを実現するOracle9i Databaseの機能である「Oracle Data Guard」やサイト間の遠隔コピーを実現するSANRISEシリーズの機能「Hitachi True Copy」により、メインサイトとリモートサイト間の高度なディザスタリカバリシステムが実現できます。

SSTCで日立+日本オラクルのコラボレーションを積極的に推進

日立と日本オラクルが共同で開設した「日立 - オラクルSANソリューションテクノロジーセンター (SSTC)」は、SANRISEとOracleを組み合わせて、24時間365日動き続けるミッションクリティカルビジネスに柔軟に対応しながら、日々増加し続けるビジネスデータを効率的に管理・運用する企業情報システム構築を支援するための拠点です。

SSTCでは現在、EP8000をはじめとする各種プラットフォームとOracle + SANRISEのクラスタ構成で、Oracleに特化したディスクの構成方法やRACのスケラビリティの検証、パフォーマンスチューニング、ミッションクリティカル環境におけるHA検証など、実際の運用を想定したさまざまな検証作業を行っており、お客様のシステム構築を支援する高度なノウハウの蓄積と最新のソリューション開発を、積極的に推進しています。

ミッションクリティカルシステムを支える高度なサポートサービスを提供

お客様が築き上げた「信用」を守るた

め、EP8000を核としたミッションクリティカルなシステムの立ち上げから本番稼働、保守までを手厚くサポート。

環境ヘルスチェックや確認済みパッチ情報の提供によるシステムダウンの未然防止、万一のOS障害時における緊急対策、お客様資産の長期にわたる活用を支援する長期保証サービス、さらには週7日24時間の窓口サービスなどを行います。また、Oracle9i RACシステムを安心して利用していただくため、専用Web上からのセキュリティ情報、最新パッチの提供などについても充実。システムのノンストップ運用を支えます。

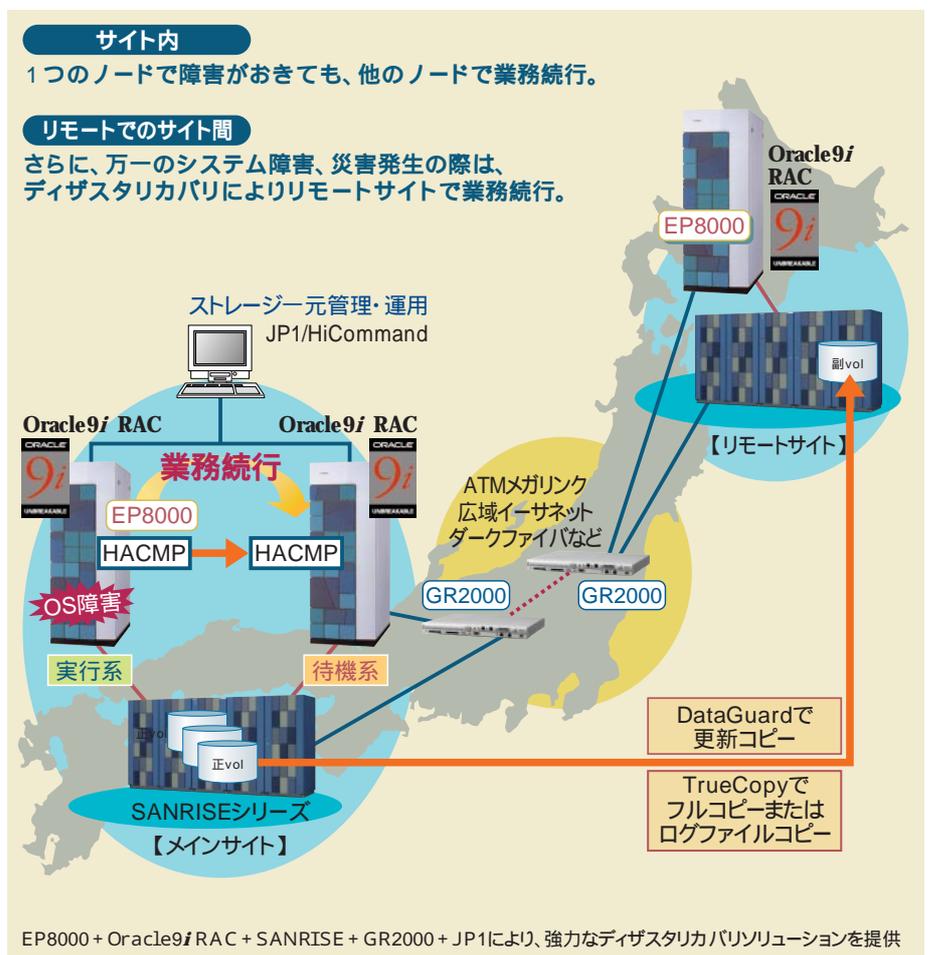


図3 ディザスタリカバリソリューション

お問い合わせ先

(株)日立製作所 エンタープライズサーバ事業部 販売企画センタ
TEL(03)5471-8902 FAX(03)5471-8994
EP8000シリーズホームページ
<http://www.hitachi.co.jp/EP8000>

日立オラクルソリューションセンタ
TEL(044)549-1439 FAX(044)549-1631
情報提供サービス
<http://www.hitachi-opss.com/oracle>